**２０２３年７月28日(金)　ほんまち町屋館会場**

 岸本尚毅

 夏の雲山頂つぶしどすんどすん 朝川由美子

 禅院のダリア木桶に浮かべをり 勝又晃衣

〇 木々囲む鯉の敏なる池涼し 朝川由美子

 短パンで麦藁帽で俳人で 塩川孝治

 中流の顔して夏の軽井沢 伊藤修文

 大木満里

〇 髭の人どこからどこへ道をしへ 岸本尚毅

 片蔭や歪み硝子の木の扉 勝又晃衣

 穏やかに緑陰を為す大欅 塩川孝治

 穴城の井戸の底へと蟬時雨 釜田眞吾

 帚草魔法信じた少年期 小泉博夫

 釜田眞吾

 じつとして風待つてをる青田かな 塩川孝治

 斑猫が来るまで道を選ばずに 髙坂小太郎

 石垣のゆるびてゐるや夏うぐいす 大木満里

〇 短パンで麦藁帽で俳人で 塩川孝治

 祭笛昼のつづきの夜となり 小泉博夫

 塩川孝治

 斑猫が来るまで道を選ばずに 髙坂小太郎

 石垣のゆるびてゐるや夏うぐいす 大木満里

〇 穴城といへどきりぎし月見草 髙坂小太郎

 滴れる山縫うやうに小海線 伊藤　政

 日盛に影をなくして人歩く 伊藤　政

 朝川由美子

 穴城といへどきりぎし月見草 髙坂小太郎

 移ろへど此処が我が街道をしへ 木村さとみ

 風の日の人の間を道をしへ 岸本尚毅

〇 炎昼やわづかになぞへなす舗道 勝又晃衣

 今生の一歩先ゆく道をしへ 伊藤修文

 木村さとみ

 祭笛昼のつづきの夜となり 小泉博夫

 髭の人どこからどこへ道をしへ 岸本尚毅

〇 犬の糞細り干涸び道をしへ 岸本尚毅

 短パンで麦藁帽で俳人で 塩川孝治

 滴れる山縫うやうに小海線 伊藤　政

 伊藤　政

 今生の一歩先ゆく道をしへ 伊藤修文

 かんちがいばかりの日々や道をしへ 大木満里

 一願の賽銭の音や青楓 大木満里

 穏やかに緑陰を為す大欅 塩川孝治

〇 短パンで麦藁帽で俳人で 塩川孝治

 伊藤修文

 祭笛昼のつづきの夜となり 小泉博夫

 かんちがいばかりの日々や道をしへ 大木満里

 花あらば虫の寄りくる盆の風 小泉博夫

 斑猫が来るまで道を選ばずに 髙坂小太郎

〇 唐破風の影のでこぼこ日の盛 勝又晃衣

 髙坂小太郎

 髭の人どこからどこへ道をしへ 岸本尚毅

〇 祭笛昼のつづきの夜となり 小泉博夫

 新涼の風に言葉の途切れたり 大木満里

 石垣の苔に拠りたる忍かな 釜田眞吾

 かんちがいばかりの日々や道をしへ 大木満里

 小泉博夫

 滴れる山縫うやうに小海線 伊藤　政

 新涼の風に言葉の途切れたり 大木満里

〇 片蔭や歪み硝子の木の扉 勝又晃衣

 向日葵と目線合はせて佇ちにけり 塩川孝治

 風の日の人の間を道をしへ 岸本尚毅

 勝又晃衣

 石垣に火照りいくつも角曲がり 朝川由美子

 大浅間踏みにじり立つ夕立雲 伊藤修文

〇 残心と的とのあはひ鬼蜻蜒 釜田眞吾

 穴城の井戸の底へと蟬時雨 釜田眞吾

 ポンポンダリア昼の長きを子は好む 小泉博夫